

シラバス情報

| 授業方法 | 講義 ・ 実験 ・ 実習 | | |
|------------|---|--|------------------|
| 系 列 | 自動車工学 | | |
| 科 目 名 | 図面 (C A D) | | |
| 必修・選択 | 必修科目 ・ 選択科目 | | |
| 対象学科 | 一級自動車整備科 | | |
| 年次学期・曜日・時限 | 3年前期 | ・ 水曜日 | ・ 1・2時限あるいは3・4時限 |
| 時 限 数 | 24時限 (期末試験を除く) | | |
| 担当教員名 | 脇屋敷 竜太 | | |
| 実務経験 | 有 ・ 無 | | |
| | | | |
| 授業の目的 | フリーソフトウェアでありながら機能性・実用性に優れ、多くの技術者に愛用されているJw-cadの操作を学び、図面作成の技術を身につける。 | | |
| テキスト | ①JW_CAD製図入門 (株式会社エクснаレッジ 発行) | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| 授業回数 | テーマ | 内容・方法等 | 使用テキスト 範囲 |
| 第1回 | 基本作図操作1 | インストール・設定、1-1線・円の作図と消去、1-2寸法の決まった図の作図と図面保存 | p.8~43 |
| 第2回 | 基本作図操作2 | 練習問題、1-3図面を開き、書き加えて印刷 1-4円・円弧・多角形の作図 | p.44~81 |
| 第3回 | 基本作図操作3 | 練習問題 1-5基本作図操作の総合練習 | p.82~100 |
| 第4回 | ハッチングの作図と文字・寸法の 記入操作1 | 2-1ハッチングの作図 2-2文字の記入とA4図面枠の作成 | p.102~129 |
| 第5回 | ハッチングの作図と文字・寸法の 記入操作2 | 練習問題 2-3寸法の記入 | p.130~160 |
| 第6回 | 図面の作図1 | 練習問題 3-1レイヤの操作練習 | p.162~173 |
| 第7回 | 図面の作図2 | 3-2ペットテーブルの三面図を作図 | p.174~191 |
| 第8回 | 図面の作図3 | 3-3ペットテーブルの三面図を作図 (寸法の記入) | p.174~191 |
| 第9回 | 図面の作図4 | フランジ型たわみ軸継手を作図 | p.192~222 |
| 第10回 | 図面の作図5 | フランジ型たわみ軸継手を作図 (寸法の記入) | p.192~223 |

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|-----------|
| 第 11 回 | アイソメ図の作図 1 | 4-1アイソメ図の作図 | p.224~233 |
| 第 12 回 | アイソメ図の作図 2 | 4-2「2.5D」コマンドでペットテーブルのアイソメ図を作図 | p.234~244 |
| | 期末試験 | 第1回～第12回までの授業内容に関するCAD上での課題制作 | |
| 到達目標 | 図面作成の技術を身に付けるとともに、基本的なパソコンの操作を修得する。 | | |
| 成績評価方法 | 平常点（小テスト、レポートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。 | | |
| 定期試験受験資格 | 開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。 | | |
| 成績評価基準 | <p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。</p> | | |
| 成績評価できない場合の基準 | 全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。 | | |